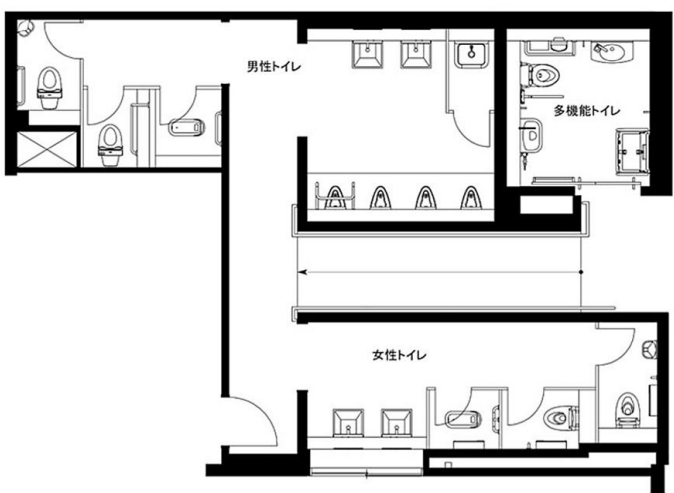


トイレ入口



遠くからでもわかりやすいように、入口通路の両側に男女で色分けしたトイレサインを表示。多機能トイレのドア横には、トイレ内の設備を確認できる触地図を掲示している。

トイレ図面

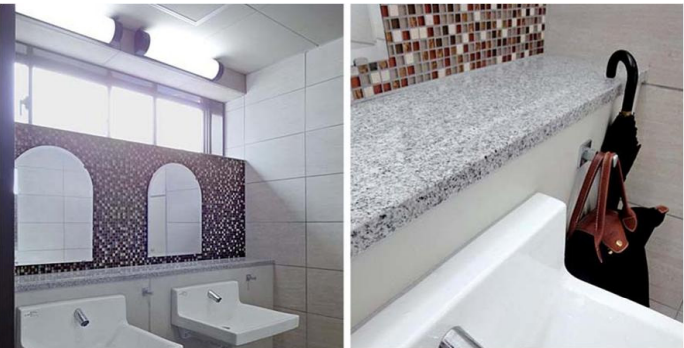


女性トイレ 全体



トイレが空くの待つ間も身だしなみチェックができるよう、洗面コーナー後方にスリット鏡を設置。スリット鏡は、洗面器前の個別鏡を使う人と視線が重ならない場所に設置し、空間のアクセントにもなっている。

女性トイレ 洗面コーナー



コンパクトタイプの壁掛ハイバック洗面器を採用。荷物配慮として、バッグや傘などが掛けられる棚とフックを設置している。

男性トイレ 洗面コーナー



凹凸感のあるキルティング生地をモチーフにしたタイル壁が、洗面空間のアクセントになっている。荷物配慮として、棚とフックを設置している。

男性トイレ 小便器コーナー



節水のための最先端技術を備えたRESTROOM ITEM 01の小便器を採用。小便器の足元と腰壁には、防汚・防臭機能を備えたハイドロセラ・フロアとハイドロセラ・ウォールを設置している。

女性トイレ 大便器コーナー



大便器ブースの間仕切りを天井まで立ち上げ、防犯性と個室感を高めている。予備のペーパーを3個ストックできるロングタイプの紙巻器の上部は、棚として使え、また手を添えて身体を支えることもできる。

女性トイレ 大便器ブース



大便器は、床の清掃性に優れた壁掛式大便器を採用。さまざまな使用者に配慮して、すべての大便器ブースに手すりを設置。また、ベビーチェアを備えた広めの大便器ブースを1ヶ所設置している。

男性トイレ 小便器コーナー



小便器により近づいた適切な位置をガイドするために、足型マークを焼き付けたハイドロセラ・フロアを設置。カバンや傘などが滑り落ちないように棚の手前に溝を設けている。

男性トイレ 大便器ブース



3ヶ所ある大便器ブースは、改修前のものを再利用し、お客さまから要望が多かったウォシュレットとベビーチェアを新たに設置。明るく清潔感のある空間に仕上げている。

建築概要

名 称	近畿日本鉄道 五位堂駅
所 在 地	奈良県香芝市瓦口268
施 主	近畿日本鉄道株式会社
設 計	近畿日本鉄道株式会社
施 工	近鉄ビルサービス株式会社
竣 工 年 月	女性トイレ (改修)2014年12月 男性トイレ (改修)2015年2月

水まわりの特長

＜改修の経緯＞
近畿日本鉄道ではお客さまサービスの一環として、快適にトイレをご利用いただけるように、順次トイレ改修を進めている。
五位堂駅は、大阪上本町駅まで約30分とアクセスしやすいことから、年々、通勤や通学の乗降客数が増えている(2012年発表:約25,000人/日)。トイレの利用頻度も高い中、老朽化やにおいの問題などを抱えていたこともあり、今回トイレ改修を実施。工事期間中はトイレを完全に閉鎖せず利用できるトイレを一部残し、お客さまに不便をかけない配慮をした。

＜トイレの特長＞
「特に小便器まわりがにおう」というお客さまの声に配慮し、小便器コーナーの腰壁には、防汚・防臭効果のあるハイドロセラ・ウォールを採用。足元には尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減するハイドロセラ・フロアを設置。さらに、小便器により近づいた位置をガイドするために、ハイドロセラ・フロアに足型マークを付けている。
女性トイレには、パウダーコーナーの代わりに壁面に意匠性を兼ねたスリット鏡を採用。トイレが空くの待つ間も有効に使ってもらうのが狙いだ。
男女トイレとも、機能的で快適なトイレ空間となっている。